

平成 17 年度 第 47 回東京都野菜・花き種苗審査会 「ピンカ」の部

6月28日(火)に、第47回東京都野菜・花き種苗改善審査会「ピンカ」が立川本場で開催されました。審査会には、26名の参加者があり、東京都種苗会の会員から出品されたピンカ20点(内参考出品5点)が3月上旬播種の作型で競われました。

また、当日は、審査の集計中に当センターの加藤生産資源科長による「花きにおける窒素・リン酸・カリ・石灰・苦土の役割」についての講演がありました。審査の概要は以下のとおりです。



審査風景

耕種概要 播種は平成17年3月9日に288穴セルトレイへ行いました。4月20日に本葉2~4枚展開した品種から順次3.5号ポリポットへ3本ずつ鉢上げしました。鉢上げ用土は、赤土：腐葉土：ピートモス=5：3：2(体積割合)として、用土100ℓ当たり、基肥として被覆複合肥料14-12-14(商品名：エコロング424-100)=150g、化成肥料6-40-6(商品名：マグアンプK中粒)=200g、過リン酸石灰=250gを混用しました。5月11日に3節を残し摘心し、追肥は緩効性肥料10-10-10(商品名：IB化成)4~5粒/鉢を5月30日、液肥10-30-20(商品名：ハイポネックス)1,000倍液を6月21日に施用しました。病害虫防除は病害虫防除指針に従い、適宜行いました。

生育概要 3月13日、都心で降雪を記録する気象の中、3月21日より一部の品種で発芽を認めました。3月31日、気象庁が関東地方の桜の開花宣言を発表し、6月24日、都心で初めて真夏日を観測しました。このように、生育初期は低温傾向で、生育後期は高温傾向で推移しましたが、生育は順調に進みました。発蕾は5月30日から、開花は6月8日から始まりました。開花株率の経時変化は品種により大きく異なり、供試品種すべてが開花したのが6月25日でした。病害虫に関しては、定期的な薬剤防除にかかわらず、アザミ

ウマ類による食害被害が花卉に見られましたが、審査には大きな影響はありませんでした。

審査結果 審査は、都種苗会会員、専門技術員、農業改良普及員、試験場研究員ら 14 名の審査員によって厳正に行われました。1 区 25 株の 2 連制で、各区採点は 100 点満点で行い、両区の平均点をもとに集計しました。結果は下記のとおりとなりました。

審査結果

等	F 1 タイタン ポルカドット	(株)ミヨシ
等	F 1 タイタン ブラッシュ	(株)ミヨシ
等	F 1 タイタン ローズ	(株)ミヨシ
等	ジャイオ サーモンピンクアイ	(有)東京花壇
等	サンストーム レッド	シンジェンタシード(株)



植物の必須元素についてもしっかり勉強しました

私たちが栽培を担当しました



等 F 1 タイタン ポルカドット



等 F 1 タイタン ブラッシュ



等 F 1 タイタン ローズ



等 ジャイオ サーモンピンクアイ



等 サンストーム レッド



入賞品種

上位に入賞した品種は、花が大きく、側枝の生育が旺盛で、揃いがよいものでした。とくに、等になった F1 タイタン ポルカドット は、花が大きく花数も多く、株張りもよい品種でした。

なお、栽培した 20 品種は審査後、都立神代植物公園（調布市）へ運ばれ展示されます。是非足を運んで頂ければと思います。